**新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた**

**救急蘇生法について**

**〇基本的な考え方及び主な変更点**

・新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては**すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応**してください。

・**成人の心停止**に対しては、人工呼吸を行わずに胸骨圧迫とＡＥＤによる電気ショックを実施してください。

※救助者が講習を受けて**人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思があっても、人工呼吸は行わず胸骨圧迫だけを続ける**ようにしてください。

　　・**子どもの心停止**に対しては、講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合は、人工呼吸を実施してください。

　　　※ただし、感染の危険などを考えて**人工呼吸を行うことにためらいがある**場合は、胸骨圧迫だけを続けてください。

**〇具体的手順**

新型コロナウイルス感染症の疑いがある傷病者への「一次救命処置」は次のとおり

実施してください。

　・②反応を確認する、④呼吸の確認　(テキストＰ６)

　　確認や観察の際に、傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにしてください。

　・⑤胸骨圧迫　(テキストＰ７)

　　胸骨圧迫を開始する前にハンカチやタオルなどがあれば傷病者の鼻と口にそれをかぶせるようにしてください。マスクや衣類などでも代用できます。

　・⑥人工呼吸　(テキストＰ７～８)

　　子どもに対しては、手元に人工呼吸用の感染防護具があれば使用してください。

　・心肺蘇生実施後

　　傷病者を救急隊員に引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を目や口に入らないように注意し十分に洗ってください。傷病者にかぶせたハンカチタオル等は、直接触れないようにして廃棄してください。